



↑天長フェリーを降りて、ぞくぞくと入島する参加者



↑ゴール後は疲れも吹き飛び、みな自然と笑顔に

太陽の下、山頂目指し歩を進める



↑一斉にスタートする参加者



↑参加者を前に国民文化祭をPRする川添健町長

2月2日、獅子島の七郎山頂を折り返し、延べ13^{キロ}の道のりを歩く獅子島ウォーク2014がありました。

1500人余りの応募の中から抽選で選ばれた約600人が参加。定期船や臨時船などを利用し、諸浦港のほか中田港（天草市）、水俣港（水俣市）から、ぞくぞくと参加者が獅子島に入島しました。

オープニングで川添健町長が「獅子島は景色もよく、美味しい特産品もたくさん。見て、食べて楽しんで」と話しました。このほか、平成27年度、県主催で行われる国民文化祭についても触れ「鹿児島、長島から地域を盛り上げましょう」とあいさ

つしました。

この日は、体を動かすと汗ばむような陽気に恵まれ、参加者らは歩き始めると、袖をまくったり上着を脱ぎ腰に巻きつけた

り、中には半袖姿になる人もいました。収穫をほぼ終えた特産のみかん畑や天草の景色などを観ながら、山頂までの急な勾配を一歩ずつ進めました。

霧島市溝辺町から参加した西中間新一さん、さゆりさん夫婦は「今回で5回目だけど、七郎山往復のコースは初めて。山頂の階段が一番疲れたが、きれいに整備されていて驚いた。久しぶりの獅子島は海がきれいでした」と笑顔を見せてくれました。

←たわわに実った甘夏を眺め楽しむ参加者

